

発 言 通 告 書

令和 8 年 6 月 25 日

松山市議会議員 大塚 啓 史 殿

松山市議会議員 佐々木 亨

次のとおり通告します。

発言順位	2	受領日時	6 月 25 日	午前・午後	8 時 50 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式			一括方式	発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長		・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長		・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者	

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	松山駅周辺まちづくりプランについて	<p>(1)JR松山駅周辺整備について</p> <p>①車両基地跡地で文化施設を整備する方針に変更はないか。</p> <p>②アリーナから文化施設の整備に方針を変更したことにより、松山駅周辺まちづくりプランを見直すのか。</p> <p>③にぎわい施設の事業実現に向けて、今後民間との協議をどのように行うのか。</p> <p>(2)新たな文化施設の整備に当たり、基本構想をどのように活用して基本計画の策定につなげていくのか。</p> <p>(3)JR松山駅周辺整備と文化施設の整備のスケジュールを問う。</p>
2	視覚障がい者への支援について	<p>(1)代筆・代読支援者の派遣について</p> <p>①市独自で代筆・代読支援者養成研修を行うことについて、本市の見解を問う。</p> <p>②代筆・代読支援者の派遣事業導入のために、他市の状況や本市のニーズについて調査してはどうか。</p> <p>(2)日常生活用具費の給付事業について</p> <p>①視覚障害者用読書器に係る支給額の根拠を問う。 また、支給額を定めた時期はいつか。</p> <p>②過去3年度における予算額と執行率を年度別に問う。</p> <p>③視覚障害者用読書器に係る支給額の上限を引き上げることにについて、本市の見解を問う。</p> <p>(3)重度障がい者タクシー利用助成事業について</p> <p>①どのような目的でこの事業を導入したのか。</p> <p>②対象者を拡充した理由とその増加数及び助成額を増額した理由を問う。</p>

No	件 名	発 言 の 要 旨
3	気象防災について	(1) 新たな防災気象情報について ①運用開始に伴う本市の対応を問う。 ②市民への周知方法を問う。 (2) 気象防災アドバイザーについて ①全国における直近の任用実績を問う。 ②今後の活用について、本市の見解を問う。
4	教育施策について	(1) 市立小・中学校体育館への空調整備について ①空調整備の対象施設数について ②整備手法と今後のスケジュールを問う。 ③物価高騰への対策について (2) 学校での不登校対策と「学びの多様化学校」について ①現在取り組んでいる学校での不登校対策について ②「学びの多様化学校」の対象と開校時期について
5	子どもの自殺対策について	(1) 相談窓口の周知方法を問う。 また、過去3年度における保健所相談窓口への相談件数を年度別に問う。 (2) 小・中・高校生の自殺を防止するために現在実施している取組を、教育や普及啓発、リスクの早期発見・対応、危機介入、見守り・支援の4つの観点から問う。 (3) 改正自殺対策基本法に基づく協議会の設置をどのように考えているのか。 また、設置方法や時期について、周辺自治体との共同設置や既存の会議体の活用等の可能性も含めた本市の見解を問う。 (4) 協議会の設置に当たり、司令塔の役割を果たす部署はどこか。 (5) 子どもの自殺をなくすための市長の決意を問う。
6	人口減少対策について	(1) これまでに実施してきた人口減少対策の成果と課題をどのように分析しているのか。 (2) 第7次総合計画を基に、今後どのように人口減少対策を進めていくのか。